

19世紀学学会設立趣旨

19世紀は大いなる変革の世紀であった。ヨーロッパでは、産業革命とフランス革命によって近代は現実のものとなった。近代が市民社会として現実化されるなかで、新しい知の体系が摸索された。その時代に、ヨーロッパでは学問の基礎としての人文学（哲学、史学、文学）が確立し、社会科学（法学、経済学）が独立・発展した。さらには自然科学が学問＝科学（理学）となり、その応用（工学、農学、医学、歯学）が課題とされ、学問を社会に一般化するための教育が重要になった（教育学）。現在の大学での学問は、ほぼこの時代の学問体系を基礎として発展してきた。

21世紀を迎えた現在、その学問体系が根本的に問い直されている。問い直しは重要だが、義論を生産的に行なうために、そもそも現在の学問がどのような社会のなかで、どのような課題の探求のために成立し、どのように発展してきたのかを問うことを共通課題とする。出発点を見直すことが先ずは必要ではないか、という率直な問題意識のもとに、19世紀に成立した学の体系について総合的に再検討することをめざし、ここに19世紀学学会を設立する。

1. 本会は、19世紀に成立した学の体系の再検討を多面的に行なうため、以下の課題を中心にプロジェクト研究を行なう。

- 1) 19世紀の社会、文化・法・芸術と学問についての基礎的研究
- 2) 人文学の方法、とくに古典古代研究・宗教研究
- 3) 学問（科学）方法論、教養・教育論
- 4) ヨーロッパ・アメリカ、アジア・アフリカ、日本の知と学問

2. これら4つのプロジェクト研究において研究を推進することを通じて、19世紀に成立した学の体系を吟味し、その知の遺産をどのように継承してきたかを検証し、あわせて21世紀における研究の方向付けを行なう。本会は、その研究成果を社会に発信し、提言するため、それぞれの研究の水準向上に寄与する。

3. このような19世紀学研究は世界においても前例がないが、欧米でなくアジアの地に学問的な交流の場を設け、そこから世界に向けてその成果を発信することを通して、学際的・学融合的研究の推進に直接寄与するものでありたい。本会は、そのような寄与をも意識した集団でありたいと願う。

本学会の趣旨に賛同され、ご理解いただけるようでしたら、是非ご入会をお願い申し上げます。年会費は本会の規約に則り、¥5,000（正会員）、¥2,000（学生会員）、¥3,000（賛助会員）を頂くこととしております。入会希望の旨を下記事務局までご連絡ください。

✂----- 申し込み票 -----✂

19世紀学学会の設立趣旨に賛同し（学生会員・正会員・賛助会員）として入会を希望します。

入会に際し、推薦を依頼する会員名（ ）；
入会希望者氏名（ ） 所属機関・職名（ ）
専門分野（ ）
住所（〒 ）
電話・Fax・連絡先等（ ）
E-Mail Address（ ）

事務局：〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050

新潟大学 大学院現代社会文化研究科 内 19世紀学研究所

Tel.&Fax. 025-262-7601 E-Mail: study_19@cc.niigata-u.ac.jp

<http://www.isc.niigata-u.ac.jp/~globalstrategy/19thcenturystudies.htm>